11Mbps 無線LAN アクセスポイント

GW-AP11H

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN アクセスポイント

GW-AP11H

本製品を安全にお使いいただくために

⚠警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

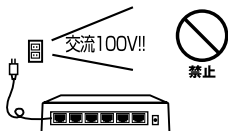
分解・改造・修理はダメ！

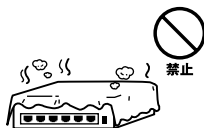
各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。

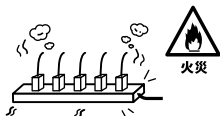
雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。

正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。

通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。

タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。

電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。

禁止

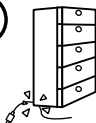
電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。

液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、
誤動作したりする可能性があります。
万一異物や液体が入ってしまった場合は、
電源コードをコンセントから外して
弊社サポートセンターまでご連絡ください。

電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

◇コードの上に物を載せない
◇熱源の側にコードを置かない
◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する
（かじった部分からショートし発火する危険があります）

設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
・直射日光のあたる場所
・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所
・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
・腐食性のガスが発生する場所

◎おねがい

本製品のお手入れ

・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

■必ずお読みください

第1章　はじめに
本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

■ご使用方法

第2章　インストレーション
本製品を設置する手順について説明します。

第3章　アクセスポイントを設定するための準備
本製品を設定するための、コンピュータの設定について説明します。

第4章　WEBブラウザを使用したアクセスポイントのセットアップ
本製品をWEBブラウザから設定する手順について説明します。

第5章　Windows用設定ユーティリティを使用した設定
本製品をWindowsからユーティリティを使用して設定する方法を説明します。

■付録

付録A　設置環境への注意
設置する環境についての注意です。

付録B　仕様
本製品の仕様について説明します。

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

User's Manual　Version 1.1　　No.PMN-02-06-YT-GW-AP11H

目次

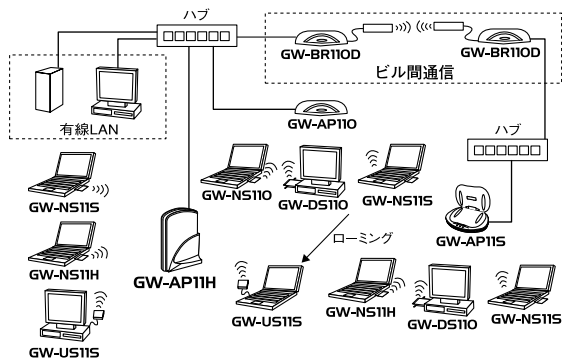
第1章

はじめに

1 概要

GW-AP11Hは、ワイヤレスLANネットワークと既存のイーサネットネットワークを接続するための変換ブリッジです。本製品を使用することで既存のイーサネットネットワーク資産を利用したワイヤレスLANネットワークをシームレスに構築することが可能です。IEEE802.11およびIEEE802.11bに準拠し伝送速度は、11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsに対応しています。ローミング機能により端末がサービスセット間を移動してもアクセスポイントを再認識させること無く使用可能です。またESSIDやWEPなどの機能を使用する事によりより堅牢なセキュリティを保つことが出来ます。

図1-1　ワイヤレスLAN構築図

2 特長

●IEEE802.11/802.11b 準拠
●IEEE802.3 10BASE-T 準拠
●ARIB STD-33A/STD-T66 準拠
●ノイズに強いDS-SS方式
●免許が不要な2.4GHz周波数帯を使用（14ch）
●11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動認識
●ESSIDおよびWEP機能、MACアドレスフィルタリングにより堅牢なセキュリティを実現
●最大80mまでの通信距離（屋内使用時、見通し距離）
●アンテナ内蔵のスリムデザイン
●アクセスポイントのステータスが簡単に確認出来る2つのLEDを装備
●異なるアクセスポイント間を端末が移動可能なローミング機能に対応
●Webブラウザによる簡単設定
●Windows用セットアップユーティリティ付属

3 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

●GW-AP11H Wireless LANアクセスポイント
●ACアダプタ
●ユーティリティCD-ROM
●このユーザーズマニュアル
●LANケーブル（1m）

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 各部の名称

■側面図

本製品側面にはアクセスポイントのステータスを表示する2つのLEDを備えています。

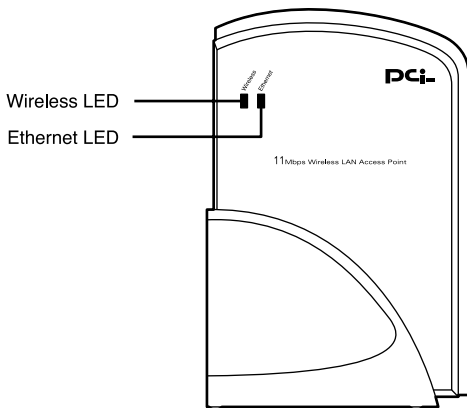



図1-2　GW-AP11H側面図

「Ethernet LED」

ポートのリンクが10Mbpsで確立すると点灯します。LANポートが通信中は点滅します。

「Wireless LED」

電源が供給されていると点灯します。ワイヤレスインターフェイスが通信中は点滅します。

■背面図

GW-AP11H背面にはハブとの接続用のLANポートとLANポートの結線切り替えスイッチを備えています。

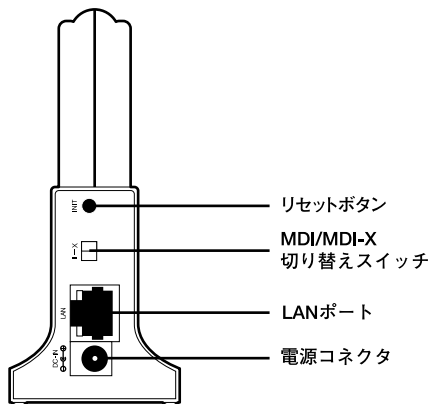



図1-3　GW-AP11H背面図

「電源コネクタ」
ACアダプタを接続します。

「LANポート」
10BASE-Tツイストペアケーブル接続用のRJ-45ポートです。アップリンクポートとして使用します。

「MDI/MDI-X切り替えスイッチ」
RJ-45ポートのクロス、ストレートを切り替えるスイッチです。

「リセットボタン」
本製品の設定を工場出荷時状態に戻します。先の細いドライバ等で押して下さい。

■底面図

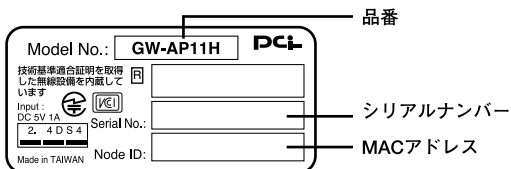



図1-4　GW-AP11H底面図

「品番」
本製品の製品型番です。

「シリアルナンバー」
本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。

「MACアドレス」
本製品のMACアドレス（物理アドレス）です。

インストレーション

この章では本製品の設置方法及び接続方法について説明します。

1 設置場所について

本製品を設置する際には必ず以下の点をお守りくださいますようお願いします。

●湿気の多い場所に設置しないでください。
●チリやほこりの多い場所には設置しないでください。
●直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しないでください。
●内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください。

2 設置

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所に設置して使用して下さい。

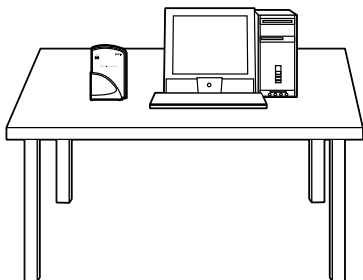



図2-1 設置

3 電源の接続

1. 本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタを接続します。

2. ACアダプタをAC100Vコンセントに接続します。

3. 側面のWireless LEDが点灯することを確認してください。
ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

4 アクセスポイントとハブの接続

ワイヤレスネットワークを既存の有線ネットワークに接続するためには本製品をハブ又はブロードルーターに接続する必要があります。

1. **ストレート結線されたLANケーブルを用意してください。ケーブルの最大長は100mです。**
2. **背面にあるLANポート切り替えスイッチをIIに合わせます。**
3. **LANケーブルの一端をハブの標準ポートに差し込みます。**
4. **LANケーブルのもう一端をアクセスポイントのLANポートに接続します。接続先の機器が正しく動作していれば、本製品側面のEthernet LEDが点灯します。**

⚠ 注意

ハブのUP-Linkポートに接続する場合はLANポート切り替えスイッチをXに切り替えてください。また、コンピュータに直接接続される場合にもLANポート切り替えスイッチをXに切り替えてください。

アクセスポイントを設定するための準備

この章ではアクセスポイントを設定するためのコンピュータの設定について説明します。本製品は設定をWEBブラウザ上から行います。本章の手順に従ってご使用のコンピュータのネットワークの設定を行ってください。

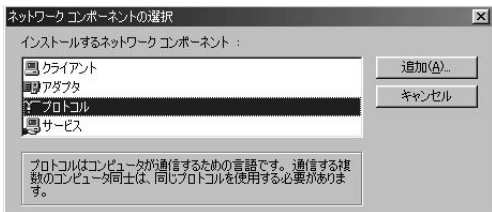
1 コンピュータの設定

ここでは各コンピュータ毎の設定について説明します。ご使用のOSの説明を参照に設定してください。

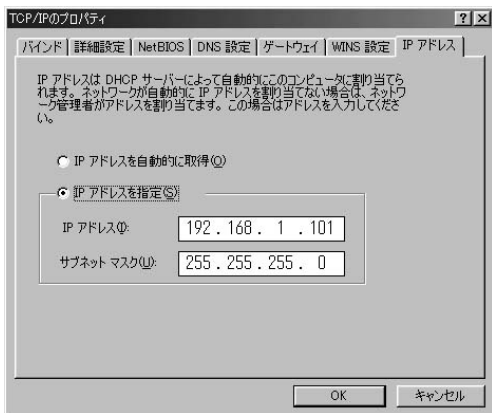
■Windows 95/98/Me

1. コンピュータにLANアダプタ、またはワイヤレスLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。インストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールを行ってください。

2. **コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」と選択してください。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。**

3. **インストールされていない場合は「追加」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。**

4. **ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。**

3

5. 「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックしてください。画面内の「IPアドレスの指定」オプションを選択し、IPアドレスに「192.168.1.x」（xは1〜99，101〜254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力してください。[OK] ボタンをクリックしてから、コンピュータを再起動してください。

■Windows 2000/XP

1. **コンピュータにLANアダプタ、またはワイヤレスLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールを行ってください。**

2.

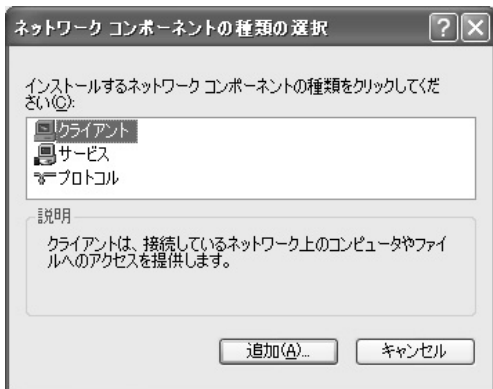
コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。

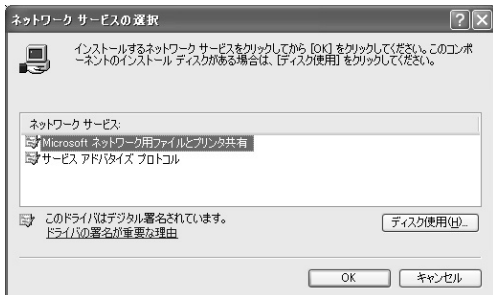
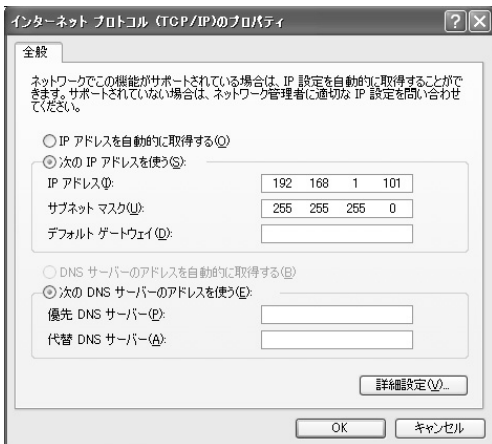
・Windows 2000

「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」と選択してください。「チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。

・WindowsXP

「スタート」メニューから「ネットワーク接続」と選択してください。「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、「プロパティ」を選択します。「この接続は次の項目を使用します」の欄に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が表示されているか確認してください。インストールされている場合は手順5に進んでください。

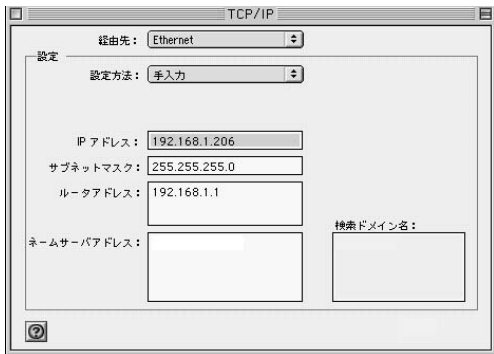
3. **インストールされていない場合は「インストール」ボタンをクリックし、「インストールするネットワークコンポーネント」から「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。**

4. **ネットワークプロトコルの選択で「製造元」に「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」には「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。ネットワークのプロパティの画面に戻ります。**

ネットワーク サービスの選択
インストールするネットワーク サービスをクリックしてから [OK] をクリックしてください。このコンポーネントのインストール ディスクがある場合は、[ディスク使用] をクリックしてください。
ネットワーク サービス:
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
サービス アドバタイズ プロトコル
このドライバはデジタル署名されています。
ドライバの署名が重要な理由
ディスク使用(H)...
OK
キャンセル

5. **「TCP/IP」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックしてください。「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されるので、「IPアドレス」タブをクリックしてください。画面内の「次のIPアドレスを使う」オプションを選択し、IPアドレスに「192.168.1.x」(xは1〜99,101〜254の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力してください。[OK]ボタンをクリックしてください。**

■Macintosh

1. アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」と選択してください。

2. TCP/IPの設定ウィンドウの「設定方法」を「手入力」に設定してください。

3. IPアドレスに「192.168.1.x」(xは1〜99, 101〜254の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力してください。

4. TCP/IPの設定ウィンドウを閉じて、Macintoshを再起動してください。

■その他のコンピュータまたはOS

ご利用のコンピュータまたはOSのマニュアル及びドキュメントを参照にして、ネットワークプロトコルをTCP/IPに設定してください。IPアドレスを「192.168.1.x」（xは1〜99，101〜254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」に設定してください。

 注意

アクセスポイントは工場出荷時の設定で「192.168.1.100」に設定されています。コンピュータに割り当てるIPアドレスには「192.168.1.100」以外を割り当ててください。また、IPアドレスは他のネットワーク機器とも重ならないようにしてください。

2 WEBブラウザからのアクセス

ここでは本製品の設定画面へのアクセス手順について説明します。

1. **コンピュータが起動したら、WEBブラウザを起動してください。**

2. **WEBブラウザのURLを入力する欄（Netscapeでは「場所」、Internet Explorerでは「アドレス」）に本製品のデフォルトIPアドレス「192.168.1.100」を入力し、Enterキーを押してください。**

3. **本製品にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを空欄のままで「OK」ボタンをクリックしてください。**

4. **本製品のWEB設定画面が表示されます。**

WEB設定画面が表示されない場合は以下の項目を確認してください。

- **コンピュータのネットワークアダプタは正常に動作しているか確認してください。Windowsではデバイスマネージャでlanカードが正常に動作しているか確認してください。**
- **コンピュータまたはLANカードのマニュアルを参照してネットワーク設定を確認してください。**
- **コンピュータのTCP/IPの設定が間違っている可能性があります。IPアドレスの設定を確認してください。**
- **使用しているWEBブラウザで、プロキシが設定されていると設定画面が表示されません。プロキシを使用しない設定にしてください。Internet Explorerでは「表示(ツール)」→「インターネットオプション」→「接続」、Netscapeでは「編集」→「設定」→「詳細」にプロキシの設定項目があります。**

WEBブラウザを使用した アクセスポイントのセットアップ

本製品はWEBブラウザを使用してセットアップを行います。第3章の手順に従ってWEB設定画面にアクセスしてください。

1 各項目

■基本情報

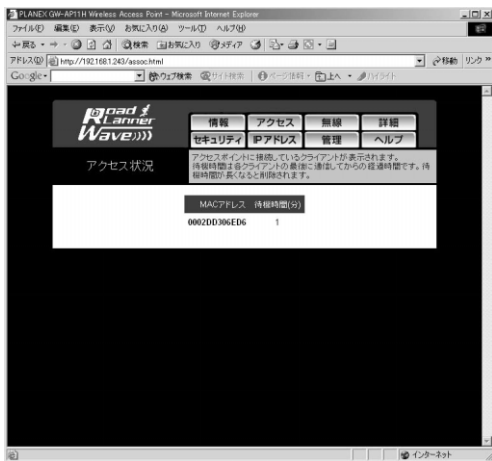
右上の［情報］ボタンをクリックすると表示されます。また、WEB設定画面にアクセスしたときに最初に表示される画面です。ここでは本製品の基本情報が表示されます。

「ファームウェア」
本製品の現在のファームウェアバージョンです。

「MACアドレス」
本製品のMACアドレスがです。製品の底面に記載されているアドレスと同じ値が表示されます。

「IPアドレス」
アクセスポイントに現在割り当てられているIPアドレスです。

■アクセス

右上の［アクセス］ボタンをクリックすると表示されます。ここでは本製品に接続されているクライアントの情報が表示されます。

「MACアドレス」
本製品を経由して接続している無線クライアントのMACアドレスです。

「待機時間」
接続されているクライアントが通信を行っていない時間です。最後にパケットを送信/受信してからの経過時間です。通信を再開すると0分に戻ります。

■無線設定

右上の［無線］ボタンをクリックすると表示されます。ここでは本製品の無線部分の基本的な設定を行います。

「アクセスポイント名」
アクセスポイントを識別する為に任意の名前を設定できます。複数のアクセスポイントをご利用の場合には個別の名前を設定する事を推奨します。デフォルトでは“ GW-AP11H ”に設定されています。

「ESSID」
ESSIDの設定をできます。ESSIDはワイヤレスクライアントを特定のAPに接続させたい場合に有効です。クライアントとアクセスポイントのESSIDを同じ値に設定する事でクライアントはそのアクセスポイントとのみ接続します。

「チャンネル」
アクセスポイントの使用するチャンネルを設定します。近くに別のアクセスポイントがある場合は、なるべく各アクセスポイントのチャンネルを離した値に設定する事を推奨します。同じ電波領域内では4個以上のアクセスポイントがあると電波干渉の可能性が出てきます。

「基本速度（Mbps）」
クライアントがアクセスポイントに接続するときの速度を設定します。サポートする速度にチェックマークを入れてください。複数の速度をサポートすることも可能です。

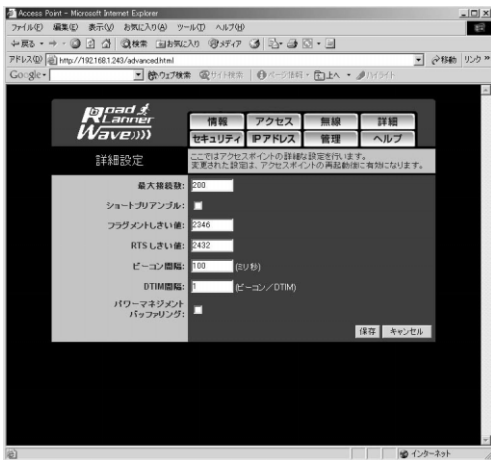
「使用する速度（Mbps）」
クライアントの受信速度の設定です。クライアントがここで設定された速度をサポートしていない場合にはクライアントはデータを受信できません。サポートする速度にチェックマークを入れてください。複数の速度をサポートすることも可能です。

「送信速度（Mbps）」
ここではアクセスポイントの送信速度です。通常はAutomaticに設定しておくことを推奨します。Automaticでは、自動的に最適な速度で送信します。

「プリアンブル」
アクセスポイントの送信するパケットのプリアンブルを設定します。プリアンブルをShortに設定すると、通信効率が上がりますが、Shortプリアンブルをサポートしない機器と接続できなくなります。通常はLongに設定してください。

設定が終了したら、[保存] ボタンをクリックしてください。「設定変更」画面が表示されますので、[再起動] ボタンを押してください。再起動後に設定が反映されます。

■詳細設定

右上の [詳細] ボタンをクリックすると表示されます。ここでは本製品の無線部分の詳細な設定を行います。ここで設定を行うことで電波状態が悪い場合などに通信効率を改善される場合がありますが、通常の利用においてはデフォルト設定でご使用いただくことを推奨いたします。

「最大接続数」
アクセスポイントに接続できるクライアントの最大数を設定します。通信効率等から通常は8台前後の最大接続台数が適切です。

「ショートプリアンブル」
クライアントからの接続がショートプリアンブルの時のみ接続できるようになります。ショートプリアンブルを使用すると、通信効率が上がりますが、ロングプリアンブルの機器から接続できなくなります。通常は選択しない事を推奨します。

「フラグメントしきい値」
パケットの分割サイズを指定します。ここで指定されたサイズより大きいサイズのパケットは、ここで指定したサイズのパケットに分割されます。電波状態が悪いときや接続クライアントが多い場合には、この値を小さくすることで改善されますが、オーバーヘッドが増えるためにスループットは下がります。通常はデフォルト値を推奨します。

「RTSしきい値」
アクセスポイントがここで指定されたサイズ以上のパケットを送信する場合にRTS（Reqest To Send）を送信します。同一アクセスポイント接続するクライアントが多く、クライアントが相互に認識されない状態（隠れ端末）の場合にはここの値を小さくすることで改善されます。通常はデフォルト値を推奨します。

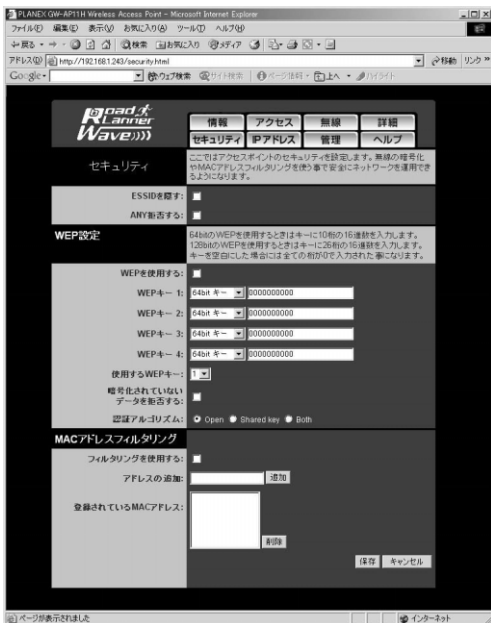
「ビーコン間隔」
アクセスポイントのビーコン間隔をミリ秒単位で設定します。ビーコン間隔を小さくすると、クライアントの接続効率が上がりますが、通信効率が下がります。通常はデフォルト値を推奨します。

「DTIM間隔」
ビーコンにDTIM（Delivery Traffic Identification Maps）を含める割合を指定します。DTIMは、パワーセーブモードのクライアントに対してパケットが待機中であることを通知します。通常はデフォルト値を推奨します。

「パワーマネジメントバッファリング」
この機能を有効にすると省電力機能の為にデータをバッファリングします。通常は選択しないことを推奨します。

設定が終了したら、［保存］ボタンをクリックしてください。「設定変更」画面が表示されますので、［再起動］ボタンを押してください。再起動後に設定が反映されます。

■セキュリティ

右上の[セキュリティ]ボタンをクリックすると表示されます。ここでは本製品のセキュリティ機能の設定を行います。

「ESSIDを隠す」

ESSIDをビーコンに含めないようにします。これによりアクセスポイントのESSIDを読み取られる事が無くなります。

「ANY拒否する」
ESSIDをANYに設定しているクライアントからの接続を拒否します。これにより不特定のクライアントからのアクセスを防ぐ事が出来ます。この機能を有効にしている場合は、接続するクライアントは必ずESSIDをアクセスポイントと合わせておく必要があります。

「WEP設定」
WEPを利用するとパケットを暗号化して送信するために盗聴される心配がなくなります。しかし、WEPを有効にした場合には暗号化処理のために若干ながらスループットが低下します。また、WEPを利用している場合にはクライアントとアクセスポイントが同一のWEPキーに設定されていない場合には接続することができなくなります。

「WEPを使用する」
WEP機能を有効にする場合にはチェックします。

「WEPキー長」
WEPキー長を64bitまたは128bitから選択します。128bitの方が強固なセキュリティ機能を持ちますが、変わりに64bitに比べてスループットが低下します。

「WEPキー」
64bitのWEPキーを選択した場合には16進数(0〜9,A〜F)で10文字の任意の値を入力します。128bitのWEPキーを選択した場合には16進数(0〜9,A〜F)で26文字の任意の値を入力します。使用するWEPキーは接続するすべての機器で同じにする必要があります。

「使用するWEPキー」
使用するWEPキーを設定します。WEPキーを設定した4つのキーから選択します。選択されたWEPキーが実際に使用されます。

「暗号化されていないデータを拒否する」
暗号されていないパケットを破棄します。

「認証アルゴリズム」
WEPキーの認証アルゴリズムを設定します。認証アルゴリズムは接続する無線機器すべてで合わせる必要があります。

「MACアドレスフィルタリング」
MACアドレスフィルタリング機能は、特定のMACアドレス以外が送信元になっているパケットを破棄する機能です。MACアドレスはネットワーク機器それぞれに与えられている唯一の値です。これにより、アクセスポイントに特定の機器のみしかアクセスできないようにできます。

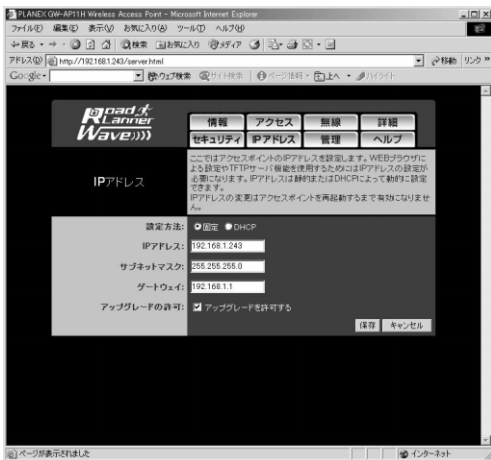
「フィルタリングを使用する」
MACアドレスフィルタリングを使用する場合にチェックします。フィルタリングを使用すると、全てのMACアドレスからの通信がフィルタリングされます。

「アドレスの追加」
フィルタリングから除外したいMACアドレスを登録するには、MACアドレスを入力して [追加] ボタンを押します。

「登録されているMACアドレス」
フィルタリングリストに登録されているMACアドレスです。ここに登録されている機器からの通信のみがフォワードされます。登録したMACアドレスを削除する場合には、削除するMACアドレスを選択して [削除] ボタンをクリックします。

設定が終了したら、[保存] ボタンをクリックしてください。「設定変更」画面が表示されますので、[再起動] ボタンを押してください。再起動後に設定が反映されます。

■IPアドレス

右上の [IPアドレス] ボタンをクリックすると表示されます。ここでは本製品のIPアドレスの設定を行います。

「設定方法」

IPアドレスの設定方法を指定します。IPアドレスを固定で割り当てる場合には " 固定 "DHCPサーバからIPを取得する場合には " DHCP " に設定します。 工場出荷時の設定では固定設定になっています。本製品はWEBブラウザ経由で設定を行いますので、管理の利便性からIPアドレスは固定設定にすることを推奨します。

「IPアドレス」

IPアドレスを固定する場合にはここにIPアドレスを入力します。工場出荷時の設定では「192.168.1.100」に設定されています。

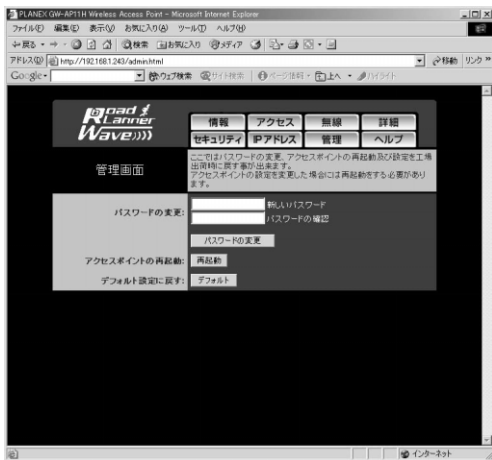
「サブネット」
IPアドレスを固定する場合にはここにサブネットマスクを入力します。 工場出荷時の設定では「255.255.255.0」に設定されています。

「ゲートウェイ」
IPアドレスを固定する場合にはここにデフォルトゲートウェイを入力します。

「アップグレードの許可」
ファームウェアのアップグレードをする場合にはここにチェックをします。ファームウェアのアップグレードを禁止する場合には、このチェックを外します。

設定が終了したら、[保存] ボタンをクリックしてください。「設定変更」画面が表示されますので、[再起動] ボタンを押してください。再起動後に設定が反映されます。

■管理画面

右上の［管理］ボタンをクリックすると表示されます。ここでは本製品の管理者用の設定を行います。

「パスワードの変更」

ここではアクセスポイントへのログイン用のパスワードの変更をします。「新しいパスワード」と「パスワードの確認」に新しく設定するパスワードを入力して［パスワードの変更］ボタンを押します。パスワードが変更されますので忘れないようにして下さい。

「再起動」

ここではアクセスポイントを再起動します。［再起動］ボタンを押すと確認ダイアログが表示されます。［OK］を押すと再起動します。設定を変更した後には必ず再起動します。

「デフォルト設定に戻す」
ここではすべての設定を向上出荷時の状態に戻します。[デフォルト] ボタンを押すと確認ダイアログが表示されます。[OK] を押すと設定がすべて工場出荷時の状態に戻ります。再起動後に設定が反映されます

設定が終了したら、[再起動] ボタンをクリックして必ず再起動してください。再起動後に設定が反映されます。

■ヘルプ

右上の [ヘルプ] ボタンをクリックすると表示されます。ここでは本製品の設定に関する説明が記述されています。右側のメニューから参照にしたい項目をクリックしてください。

Windows用設定ユーティリティを使用した設定

本製品は付属のWindows用ユーティリティを使用して設定を行うことができます。ここでは設定手順について説明いたします。

1 セットアップ

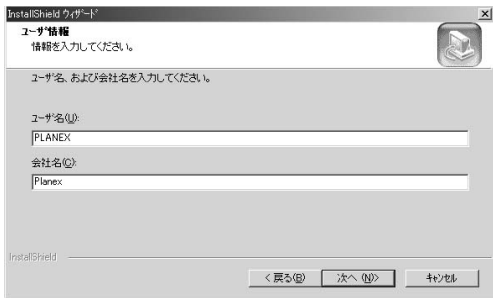
ここではWindows用設定ユーティリティのインストール手順について説明します。

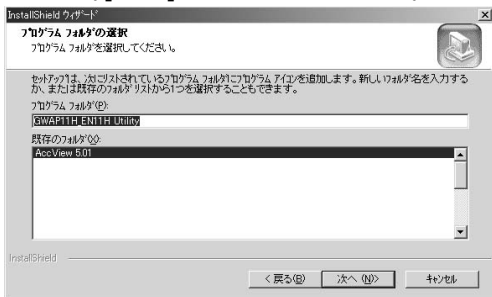
1. 本製品付属のユーティリティCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

2. 「スタート」メニューから「ファイル名を選択して実行」を選びます。

3. 名前にD：\utility\setup.exe（CD-ROMドライブがDドライブの場合）を入力して［OK］ボタンをクリックします。

4. **設定ユーティリティのインストーラーが起動します。[次へ] ボタンをクリックします。**

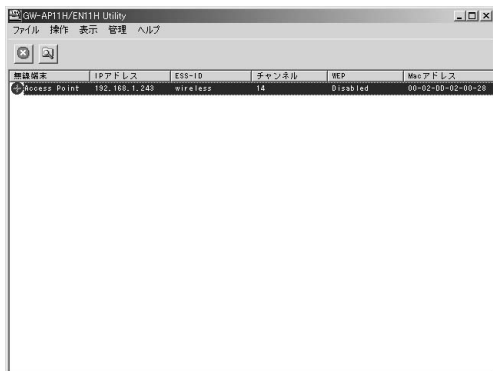
5. **「ユーザー名」と「会社名」を入力するウィンドウが表示されますので、任意の名前を入力します。[次へ] ボタンをクリックします。**

6. **インストール先のフォルダを指定するウィンドウが表示されます。インストール先を変更する場合には [参照] ボタンをクリックします。[次へ] ボタンをクリックします。**

7. **スタートメニューへの登録名を入力するウィンドウが表示されます。[次へ] ボタンをクリックします。**

8. **インストールが開始されます。インストール完了のウィンドウが表示されたら［完了］ボタンをクリックしてください。インストールはこれで完了です。**

2 ユーティリティの起動方法

ここでは本製品の起動方法について説明します。

1. **「スタート」メニューから「プログラム」→「PLANEX」→「GW-AP11H_EN11H Utility」を選択します。**

2. **GW-AP11H設定ユーティリティが起動します。自動的にネットワーク上のアクセスポイントを検索して、アクセスポイントの一覧が表示されます。**

注意

アクセスポイントの一覧に何も表示されない場合は第3章を参照にしてIPアドレスの確認をしてください。

3 ユーティリティによる設定

ここではユーティリティを使用して設定できることについて説明します。

■WEBブラウザによる設定画面の表示

表示されているアクセスポイント一覧から設定画面を表示させたいアクセスポイントをダブルクリックしてください。自動的にWEBブラウザが起動して設定画面が表示されます。

■アクセスポイントの検索

ツールバーの［Edit］から［検索］を選択します。ネットワーク上にあるアクセスポイントが検索され一覧表示されます。アクセスポイントが表示されない場合は、アクセスポイントとコンピュータのサブネットが範囲外の場合があります。IPアドレスの確認をしてから再度検索してください。

■IPアドレスの設定

ツールバーの［管理］から［IPアドレスの設定］を選択してください。IPアドレスの設定画面が表示されます。DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合は［DHCP］を選択してください。IPアドレスを固定で設定する場合は［固定設定］を選択して、IPアドレスを入力してください。新しいIPアドレスは再起動後に有効になります。

■ファームウェアのアップデート

ツールバーの［管理］からファームウェアのアップデートを選択してください。アップデート画面が表示されますので、ファームウェアファイルをフルパスで指定して、［アップデート］ボタンを押してください。ファームウェアのアップデートが開始され、アクセスポイントが自動的に再起動します。

設置環境への注意

ワイヤレスLANはケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信を行うには出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 （＊が多いほど、影響が大きいことを表します。）	具体例
空気	＊	―
石材	＊＊	木材の仕切り
石膏	＊＊	仕切り壁
合成素材	＊＊	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	＊＊	天井
ガラス	＊＊	窓ガラス
水	＊＊＊	湿った木材
煉瓦	＊＊＊	煉瓦壁
大理石	＊＊＊＊	石壁
セメント コンクリート	＊＊＊＊	床、壁
防弾ガラス	＊＊＊＊	哨舎
鉄	＊＊＊＊＊	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

仕様

準拠する規格
●無線部　IEEE802.11/802.11b,ARIB STD-33A/STD-T66準拠
●有線部　IEEE 802.3 10BASE-T イーサネット

伝送速度
●無線部　11/5.5/2/1Mbps（オートセンシング）
●有線部　10Mbps

＜ネットワークケーブル＞
10BASE-T カテゴリ3、4、5ツイストペアケーブル（100m）

＜周波数帯＞
2.4～2.497GHz

＜通信距離＞
80m（屋内使用時、見通し距離）
※環境により上記距離を満たせない場合があります。

＜アンテナタイプ＞
チップアンテナ

＜インターフェイス＞
RJ-45 MDI/MDI-X 10BASE-T

＜LEDインディケータ＞
Ethernet, Wireless

＜消費電力＞
2.1W

＜外形寸法＞
108.5mm×76mm×44.5mm

＜重量＞
97g

＜動作温度＞
0～40℃

＜動作湿度＞
35～85%（結露しないこと）

＜EMI＞
VCCI class B

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

http://www.planex.co.jp/user/user.htm

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PCIダイレクト〉
http://direct.planex.co.jp/

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉
http://www.planex.co.jp/lan.htm

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉
http://www.planex.co.jp/support/techform.htm
受付：24時間
〈電話〉
フリーダイヤル：0120-415977
受付：月～金曜日、10～12時、13～17時
＊祝祭日および弊社規定の休業日を除く
〈FAX〉
ファクス番号：03-5614-1018
受付：24時間

◇お問い合わせ前のお願い
サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力お願いいたします。

・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名（Windows XP/Meなど）
・ご利用のネットワークの環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）
・ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ
http://www.planex.co.jp/

注）上記内容は2002年5月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

質 問 表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX：03-5614-1018

送信日：＿＿＿＿＿＿＿＿

会社名			
部署名			
名前			
電　話		FAX	
E-MAIL			

製品名	11Mbps 無線LAN アクセスポイント
型番 Product No.	**GW-AP11H**
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワークOS		バージョン	
OS		バージョン	

③ 質問内容

保証規定

プラネックスコミュニケーションズ（株）は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

◎初期不良・修理依頼の手順（センドバック方式）

弊社では、センドバック（先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する）方式による修理対応を行っております。

1.本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。

プラネックスコミュニケーションズ（株）サポートセンター
フリーダイヤル・0120-415977　　FAX・03-5614-1018
Web・http://www.planex.co.jp/support/repair.htm

2.ご案内に従って、修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。
（誠に勝手ながら,リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担でお願いいたします。）

3.当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。